

☆オレンジ通信☆

平成24年 12月号

先日、勉強会に行き「持効性注射剤の再発予防に対する有用性について」と「5疾患・5事業にともなうこれからの精神科医療」について学んできました。

今回は持効性注射剤について紹介したいと思います。



持効性注射剤（デポ剤）は1回の注射で2～4週間効果が続く治療で、症状をできるだけ安定させて日常生活を送ることを目的としています。



持効性注射剤のメリット&デメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">・ 薬を飲み忘れる心配がない。・ 飲み薬の量が減る。・ 薬の効果が長持ちする。・ 再発予防になる。・ 人目を気にしながら薬を飲まなくてもよい。・ 家族や医師に服薬確認をされることがない。	<ul style="list-style-type: none">・ 注射薬のため痛みをとまなう。※1・ 副作用が出現してしまうと長く症状が続いてしまう。※2・ 費用が高い。※3・ 効果を発揮するまで時間がかかる。※4

※ 1 最近では新しいタイプの注射剤も使えるようになっており、従来のタイプの注射より痛みを和らげる工夫もされています。また、左右交互に打つことで、注射の傷あとは残りません。

※ 2 副作用については飲み薬の症状と同じです。少量から注射に置き換えていくのが安全です。

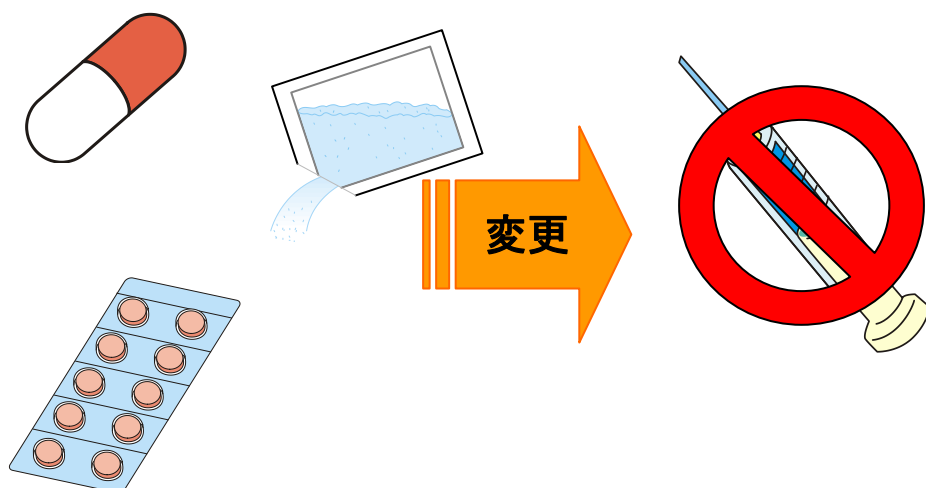
※ 3 自立支援医療を利用することで料金を抑えることができます。

※ 4 数週間～数ヶ月かかることがあります。効果が発揮されるまでは、飲み薬との併用が一般的です。

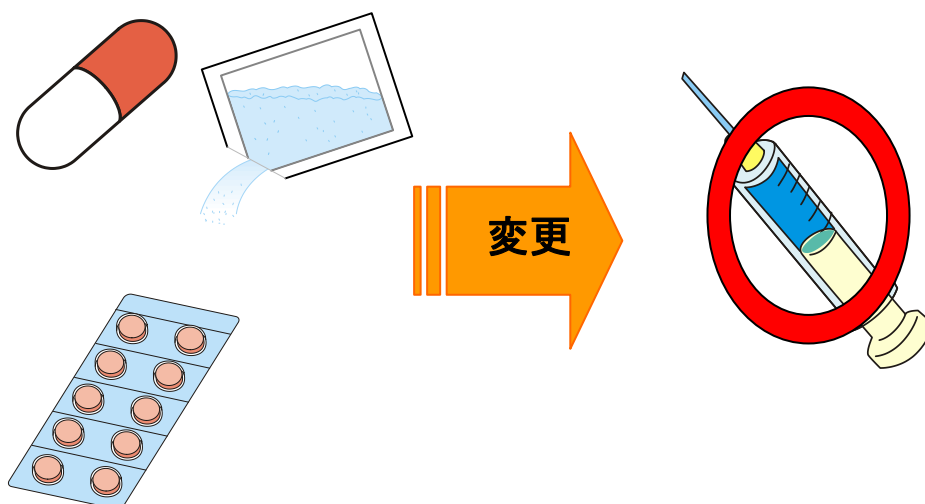
し・か・し

next... >>>

全てのお薬が時効性注射剤に変更できるわけではありません。



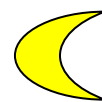
当院では、リスパダール と ハロペリドール が時効性注射剤に変更できます。



時効性注射剤に変更を希望される方は、
主治医に相談してください。



トピックス



パンフレットの紹介

Hope for Tomorrow (NPO 法人セルフサポートセンター浦河べてるしあわせ
研究所)

リスパダールコンスタ注射を打っている方の体験談が掲載されています

リスパダールコンスタによる治療を受ける皆様とご家族の方へ (ヤンセンフ
ァーマ)